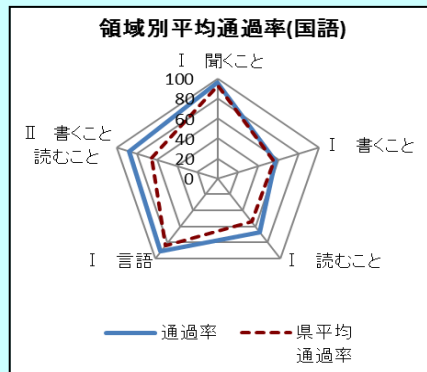
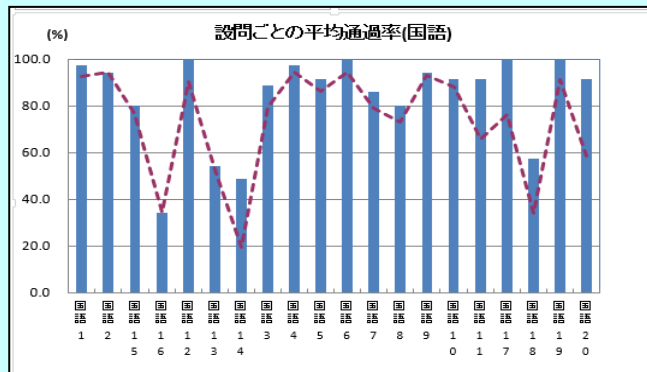


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 83.9%, 県 73.6%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向について
 - ・国語の結果において、タイプⅠは83.0%、タイプⅡは87.1%の通過率となっている。また、通過率60%以上の生徒が100%であり、基礎的・基本的な内容についても、知識・技能を活用する内容についても、ある程度の定着が図れていると言える。
- 昨年度の課題への取組の成果
 - ・昨年度は段落相互の関係を正しく押さえて読む力（通過率60.5%）や「文章の展開を確かめながら要旨を捉える力（通過率55.8%）」に課題があり、キーワードに線を引いたり段落の役割を捉えさせたりする取組を行った。その結果、今年度は「文章の展開を確かめながら要旨を捉える」ことの通過率は100%であった。しかし、書くこと全体の通過率が57.1%と低かった。

重点課題

【課題1】

- ・「書くこと」の「書いた文章を読み返し、読みやすくわかりやすい文章にする」力に課題がある。(四-2 通過率34.3%)

【課題2】

- ・「読むこと」の「文章の展開に即して、登場人物の心情を的確にとらえる」力に課題がある。(三-5-(2) 通過率48.6%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題1】

- ・問いには「意味は変えずに二つの文にする」「二文めには『できました』に対する主語を補う」という指示があったにも関わらず、『できました』に対する主語をそれより前の文章から類推することができていない。そこで、今後は、書いた文章の文法的な誤りや表現の伝わりにくさを自分で読み返して考えさせることや観点を定めた相互評価に取り組む。

【課題2】

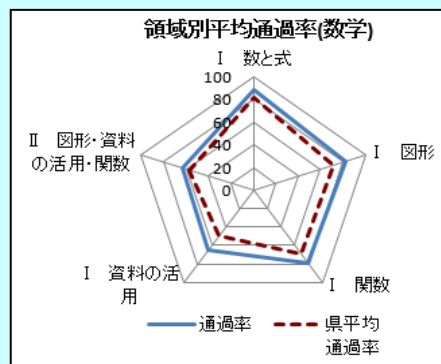
- ・これまで、人物の言動に注目させて心情を書かせてきたが、自分一人で問いを読んだ的確にとらえることができていないという課題が明らかになった。今後は、指導者による指示をできるだけ短くして与えられた課題に対して主体的に読み取る学習展開を取り入れる。

| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|-----------------|-----------------|-----|----|---------------|----|
| 学年・方法 | | 2年生 2学期中間テスト | 2年生 2学期期末テスト | | | 2年生 学年末テスト | |
| 目標値 | | 50% | 70% | | | 90% | |
| 実施後数値 | | 42% | 63% | | | 70% | |

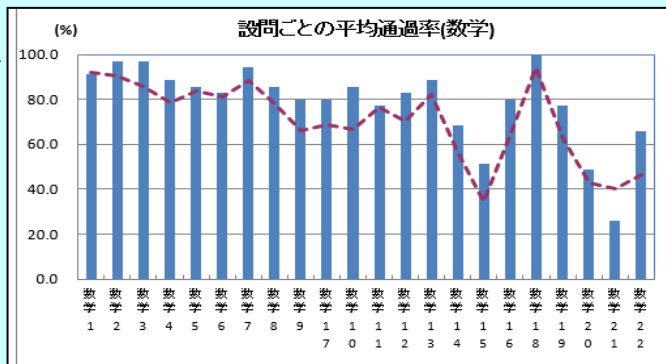
| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|-----------------|-----------------|-----|----|---------------|----|
| 学年・方法 | | 2年生 2学期中間テスト | 2年生 2学期期末テスト | | | 2年生 学年末テスト | |
| 目標値 | | 50% | 70% | | | 90% | |
| 実施後数値 | | 78% | 86% | | | 84% | |

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 78.8%, 県 70.4%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向について
 - ・数学科の結果において、タイプⅠは83.4%、タイプⅡは63.4%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考えられるが、それらを活用する力については不十分である。
 - ・領域の中では基礎的・基本的な「数と式」について通過率が88.3%で一番定着率が高かった。
- 昨年度の課題への取組の成果 (あるいは課題)
 - ・昨年度は、「図形・資料の活用・関数 (タイプⅡ)」において、通過率が50.6%で課題があった。そこで、各自で考えさせた後、ペアや班内でどのように考えたか説明させたり、書かせたりする活動を増やした。その結果、タイプⅡの無回答率が大きく改善され(昨年度15.7%, 本年度3.4%), タイプⅡの正答率は大きく向上した (昨年度50.6%, 本年度63.4%)。

重点課題

【課題1】

・「比例のグラフの特徴について、数学的な表現を用いて記述する」問題に課題がある。一直線上に並んでいるという特徴については多くの生徒が記述していたが、原点を通るという比例の特徴が記述できていなかった。(大問11(1), 通過率25.7%)

【課題2】

・「資料の傾向を捉え、判断した理由を正しく選択する」問題に課題がある。範囲, 最大値を含む階級の階級値, 相対度数といった数学用語の意味が正確に分かっていない。(大問10, 通過率48.6%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

- ・原点を通るという特徴と直線になるという特徴について強調して教える。
- ・PC教室を中心に授業を行い、グラフの特徴などを視覚的に捉えさせる。その捉えた特徴について、ICT機器を使いどのように考えたか説明させる活動を取り入れ、内容理解の定着を図る。

【課題2】

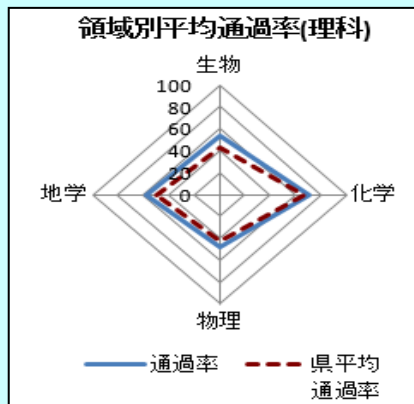
- ・「資料の活用」の単元で必要になる基本的な数学用語について、基本問題に数多く取り組ませ理解させる。さらに、総度数の異なる身近な例を提示し、2つの資料の比較を文章に書かせ説明させることにより、相対度数の必要性を感じさせ、理解力を向上させる。

| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月 2年生 (類似問題) | 12月 | 1月 | 2月 1年生 H26「基礎・基本」 | 3月 2年生 H26全国学力・学習状況調査 |
|-------|----|-----|----------------------|-----|----|-------------------------|-----------------------------|
| 学年・方法 | | | | | | | |
| 目標値 | | | 60% | | | 70% | 65% |
| 実施後数値 | | | 61% | | | 67% | 69% |

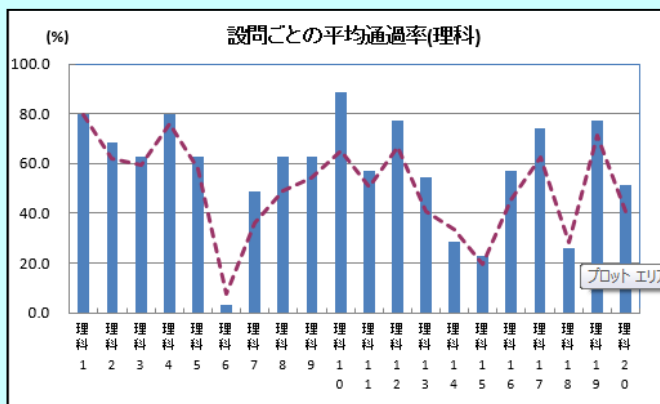
| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月 2年生 (類似問題) | 12月 | 1月 | 2月 1年生 H26「基礎・基本」 | 3月 2年生 H26全国学力・学習状況調査 |
|-------|----|-----|----------------------|-----|----|-------------------------|-----------------------------|
| 学年・方法 | | | | | | | |
| 目標値 | | | 60% | | | 70% | 65% |
| 実施後数値 | | | 55% | | | 61% | 69% |

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 57.3%, 県 50.2%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向について
 - ・理科の結果において、タイプⅠは57.1%、タイプⅡは57.5%の通過率となっている。この結果から、基礎・基本的な内容については約6割の定着が図られていると考えられるが、それを活用する力について不十分である。
- 昨年度の課題への取組の成果・課題
 - ・昨年度は化学領域の(タイプⅡ)「溶質の再結晶」において課題があった。(通過率11.6%)そこで、自ら進んで探究的な活動を行い、課題を解決していく活動を実施した。その結果、4つの領域の中で、「化学」の通過率が70.9%で一番高かった。

重点課題

【課題1】

・内容：「裸子植物と被子植物の花のつくりの違いについて理解している。」【自然事象についての知識・理解】に課題がある。(生物2分野(1)イ(ア)通過率2.9%)

【課題2】

・内容：「日常生活における圧力に関する事象について説明することができる。」【科学的な思考・表現】に課題がある。(物理1分野(1)イ(イ)通過率22.9%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】

・アブラナとマツの花の観察を行い、その観察記録に基づいて、花の基本的なつくりの特徴を見いだすとともに、それらを花のはたらきと関連づけて理解させる。学習したことをグループで説明させる活動や一人一人にレポートを作成する活動を取り入れる。

【課題2】

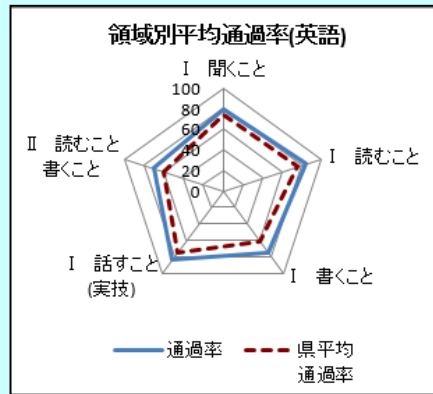
・圧力についての実験を行い、圧力は力の大きさと面積に関係があることを日常生活と関連づけて理解させる。学習したことをグループやペアで説明させる活動や一人一人にレポートを作成する活動を取り入れる。また、圧力が日常生活とどのような関連があるか小グループで話し合わせ、その事象をあげる。

| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|----------------|----------------|-----|----|--------------|----|
| 学年・方法 | | 2年生 2学期中間試験 | 2年生 2学期期末試験 | | | 2年生 学年末試験 | |
| 目標値 | | 60% | 70% | | | 90% | |
| 実施後数値 | | 66% | 62% | | | 68.4% | |

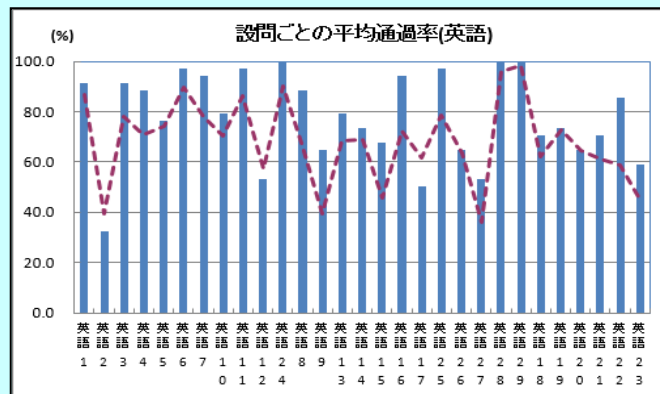
| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|----------------|----------------|-----|----|--------------|----|
| 学年・方法 | | 2年生 2学期中間試験 | 2年生 2学期期末試験 | | | 2年生 学年末試験 | |
| 目標値 | | 60% | 70% | | | 90% | |
| 実施後数値 | | 67% | 70% | | | 55.9% | |

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 77.8%, 県 68.2%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向 (タイプ I, II の状況, よい領域はどこか) について
 - ・英語科の結果において, タイプ I は 79.7%, タイプ II は 70.6% の通過率となっている。また通過率 30% 未満の生徒はゼロであった。タイプ II については, 昨年度の結果より 27.3% 伸びている。この結果から, 基礎的・基本的な内容や学んだことを学習の様々な場面に活用する力も以前より定着が図られていると考えられる。しかし, 基礎的・基本的な知識の正答率が 80% を超えていないことから, まだ定着が十分ではない。
 - ・基礎的・基本的な「読むこと」については通過率が 84.7% であり, かなり定着していると言える。
- 昨年度の課題への取組の成果 (あるいは課題)
 - ・昨年度は「根拠をもって考えを伝える英文を読み取って書く」力に課題があった。そこで, 英文と資料 (絵・地図・ポスター等) を関連させた問題を用意して, 授業の中で説明したり, 問題を解かせたりすることを繰り返した。また生徒が自分で解いた答と理由についてペアや班内で交流する活動を多く設定した。その結果, 本年度のその領域の小問の通過率は 73.5% になり, 昨年度よりも英文から根拠を読み取って書く力が向上したといえる。

重点課題

【課題 1】

・「2人の対話文を聞き, その内容についての質問に答えることができる」力に課題がある。「Can I use your bike? (自転車を使ってもいい?)」に対して, 「Sure.(いいとも)」が正答になるが, can を用いた誤答の Yes, I can. を選ぶ生徒が多く会話文の内容を理解できていない実態がある。(大問 1-2 通過率 32.4%)

【課題 2】

・「文と文のつながりや話の内容などを考えて英文を書く力」に課題がある。「カズオを紹介する 1 文を, あとの英文との意味とのつながりを考えて書きなさい。」という問題で正答は He can play the guitar. だが, He likes music. と書いた生徒が多く, 設問をよく読んでいない実態がある。(大問 10-2 通過率 50.0%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題 1】

・授業時の Q&A の活動を活性化させる。具体的には, Yes-No Question だけではなく, 既習事項を用いて幅広く答えられるような問題の出題や生徒からの質問, 2 文以上で答える等の活動を以前より多く取り入れる。また Sure. That's too bad. 等の慣用句に親しませるために, Flash Card を用いて慣用句に慣れさせる活動も行う。

【課題 2】

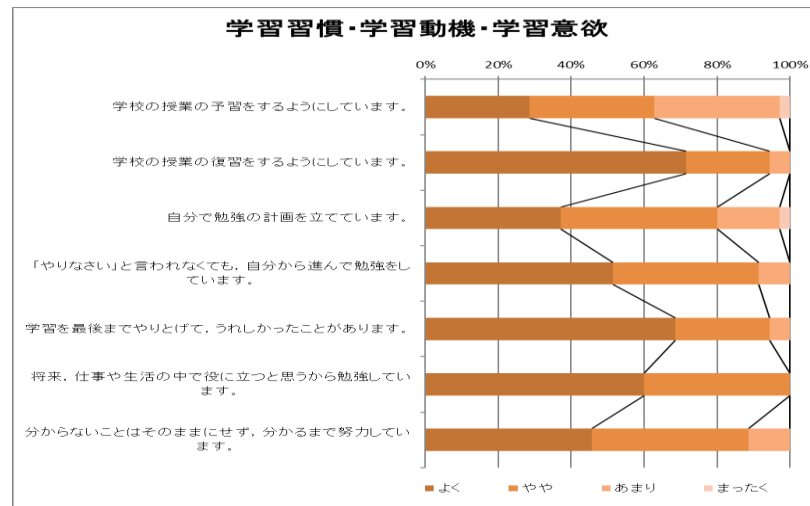
・いろいろな例文を示して, 文と文のつながりを考えさせる学習活動を多く仕組むようにする。具体的には既習の内容・文法事項を活用できるトピックを提示する。その際に, 英文はどのような状況で使われているのか, どのような意味の文や語を受けているのか, いろいろな例文を示して個人→班 (ペア) →全体思考させて書かせる活動を設定する。また, 書くことに苦手意識を持つ生徒には, ヒントを与えて「一文は書こう」から始めて, 書くことへの抵抗感を減らし, 徐々に複数の英文を書くことに慣れさせるようにする。

| 【課題 1】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|----|-----|--------------|-----|----|--------------|----|
| 学年・方法 | | | 2年生 復習テスト | | | 2年生 復習テスト | |
| 目標値 | | | 70% | | | 80% | |
| 実施後数値 | | | 53% | | | 74.2% | |

| 【課題 2】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|----|-----|----------|----------|----|----------------------|----|
| 学年・方法 | | | 2年生 類似問題 | 1年生 類似問題 | | 1・2年生 学年末テスト (類似問題) | |
| 目標値 | | | 70% | 60% | | 1年 70% 2年 80% | |
| 実施後数値 | | | 69% | | | 1年 72.7% 2年 82.8% | |

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

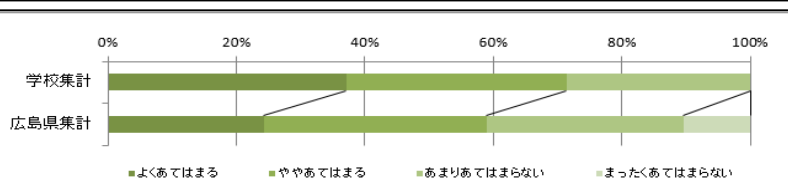
(1) 生活・学習



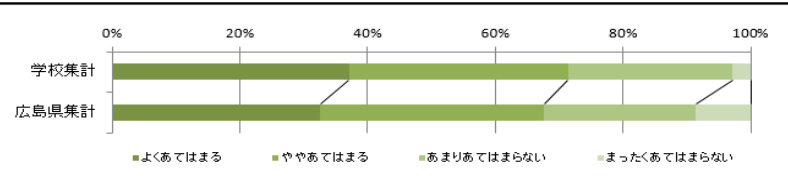
| 生徒の回答についての課題（現状値） | 今後の具体的な取組の内容 | 学年 | 目標値 | 検証方法 | 検証時期 | 実施数値 | 現状からの伸び |
|--|---|----|-----|---------|------|-------|---------|
| 「学校の授業の予習をするようにしています。」について肯定的評価をした生徒は、62.9%であった。「あまり」と回答した生徒が37.1%おり、昨年度よりは改善の傾向が見られるものの、依然として低い傾向にある。 | 授業者が授業の最後に、次の授業内容につながるような課題を提示したり、興味・関心を持たせるような投げかけをしたりして、全員が意欲を持って予習できるようなものを準備しておく。また必ず次の授業で予習の内容が役立つ場面を設定する。 | 2年 | 80% | 生徒アンケート | 11月 | 63.1% | 0.2% |
| | | | | | 2月 | 80.6% | 17.7% |

(2) 教科

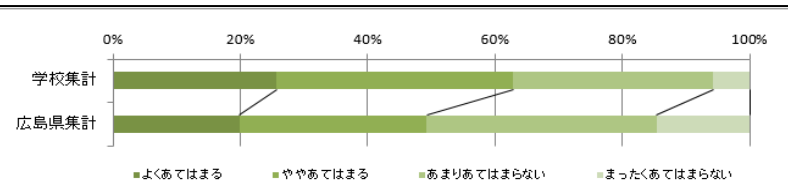
国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。



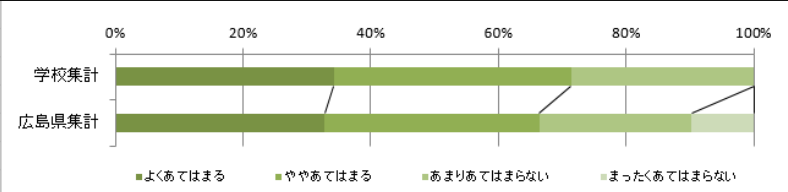
数学の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



英語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。



| | 生徒の回答についての課題（現状値） | 授業改善の方向性や具体的な取組 | 学年 | 目標値 | 検証方法 | 検証時期 | 実施数値 | 現状からの伸び |
|----|---|---|----|-----|-------|------|-------|---------|
| 国語 | 「国語の授業では、学んだことの振り返りをしています。」の肯定的回答が71.7%であった。 | 振り返りの時間をとらないと書けない生徒がいるので、「今日のなるほど」と題して、わかったことや気づいたことを書く時間を設定する。 | 2年 | 90% | アンケート | 2学期末 | 91.7% | 20.0% |
| 数学 | 「数学の授業では、学んだことの振り返りをしています。」の肯定的回答が71.4%であった。 | 授業の終わりに学習内容のまとめを行うとともに、「今日のなるほど」と題して、わかったことや気づいたことを書く時間を設定する。 | 2年 | 90% | アンケート | 2学期末 | 91.7% | 20.3% |
| 理科 | 「理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。」の肯定的な回答率は62.9%であった。 | 授業の中で、小集団(4人から6人)や全体で自分の考えを説明させる場を設定し、根拠を示しながら自分の考えを説明することや自分の考えと比較しながら聴くことを指導する。 | 2年 | 90% | アンケート | 2学期末 | 55.6% | -7.4% |
| 英語 | 「英語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。」の肯定的回答率は71.4%であった。 | 毎時間の目標を板書し、全員で確認するとともに、毎時間の終わりに目標に準ずる問題に取り組むなどを行うことで理解度の振り返りをする。 | 2年 | 90% | アンケート | 2学期末 | 97.2% | 25.8% |